

- 狩猟免許を取得した自衛隊OBが、福知山市の鳥獣駆除隊員の一員として、有害鳥獣捕獲活動に従事。
- 捕獲活動のほか、侵入防止柵の設置及び維持管理、猟銃の安全管理講習、猟犬による鳥獣の追い払い活動等を実施。
- 退職自衛官の再就職先としての鳥獣被害対策の確立、法人としての捕獲活動従事を将来的な目標として活動。

自衛隊員の退職状況

- 自衛隊員は、一定の階級以上にならない限り、54歳で定年を迎える者が多数。
- 一般企業も定年延長により、自社社員の再雇用が増えており、自衛隊員の再就職先は減少傾向。
- 自衛官としてのスキルと、一般社会で求められる再就職時のスキルに一部、乖離があり、雇用のミスマッチが発生。

NPO法人設立の経緯等

- 理事長の下元照男氏（元陸上自衛隊）が、地域の自治会長を務めていた際、シカ・イノシシ被害が大きな問題となったことから、狩猟免許を取得し、NPO法人を設立。
- 平成30年1月時点の構成員は10名。うち4名が元陸上自衛隊員。

現在の活動状況等

- 現状、法人として捕獲活動には従事できていないが、構成員個々が地域の駆除隊の一員として捕獲活動に参加しているほか、柵の設置・保全、銃の安全管理講習会講師、追い払い犬による追い払い活動等を実施。

【28年度活動実績】

事業名	内容	活動規模
有害獣の捕獲	福知山市の駆除隊に加わり捕獲活動を実施	年間21回 出勤
有害獣侵入防止柵保守等	自治会の要請で柵の保守及び除草を実施	夏季に2回 程度 計4日間
狩猟安全講習	狩猟免許取得者を対象に安全に関する講習を実施	猟期及び 駆除時
有害獣の追い払い	猟犬を活用し、有害獣の追い払いを実施	毎週

将来的な展開・展望等

- NPO法人としての有害鳥獣捕獲活動の請負。
- 自衛官が現役時に培った技術を活かせ、安定的な所得を確保できる再就職先としての確立。

（参考）国による自衛隊OBへの働きかけについて

- 農林水産省及び環境省は、防衛省と連携し、自衛隊退職者を会員とする（公社）隊友会の定時総会に毎年出席し、鳥獣被害対策の重要性を説明するとともに、協力及び支援を要請。



- 現場からの具体的なニーズがあれば、隊友会とのマッチングも可能。